Z世代に向けた性感染症の予防行動推進事業

資料４－２

【背景】

・東京都内の梅毒の報告数は例年1,500件前後で推移
　令和3年2,451件、令和4年3,677件、令和5年は3,701件と増加
・年齢階級別・性別報告数では、男性は20～50歳代、女性は20歳代が最多
　Z世代 を含む若い世代を中心に広がっている
➡当保健所管内の梅毒発生届出の動向も東京都と同様
・令和５年度に管内大学に感染症普及啓発を実施した際、大学職員から「性行為により性感染症に罹患することを知らない学生もいる」との声も聞かれ、適切な予防行動がとれていないと推測
・当保健所での性感染症検査受検者は、50歳代以上が約半数。検査ターゲット層が受検につながっていない現状

【目標】
Z世代への効果的な普及啓発の検討・実施を通じて、Z世代が性感染症を身近な問題ととらえ、正しい知識の習得や予防行動・受検行動につなげる

※z世代とは：1990年代半ばから2010年代序盤に生まれた世代。本報告では15歳から29歳と定義。

【2年間の事業内容】

R6年度

（1）Z世代の性感染症の予防行動に関する情報収集、研修会開催

・管内大学学生2団体を対象にしたヒアリング調査

・関係者向け研修会

（2）性感染症に関するアンケート調査実施

・対象：性感染症検査受検者と管内6大学大学生

・内容：性感染症の知識や予防行動、受診や受検行動を促す要因等

（3）保健所性感染症検査や性感染症予防の普及啓発・周知方法検討

・助言者、管内大学学生3団体と検討会を開催。調査結果を基に、Z世代に受け入れられやすい周知方法やメッセージ等を検討

R7年度

（1）普及啓発動画内容・構成案の検討及び制作

（2）制作動画公開・性感染症予防普及啓発キャンペーン実施

・大学学園祭での動画公開と視聴後アンケート等実施

・各市健康主管課、高校・大学保健担当を対象に動画制作報告会を開催

・エイズ予防月間に合わせた大学での啓発キャンペーン等

（3）本事業成果の評価

・動画視聴後アンケート、媒体アクセス数、保健所検査状況の分析等

【R７年度(１)普及啓発動画内容・構成案の検討及び制作】

動画内容検討会の開催

アンケート分析結果～検査受検者と比較した大学生の傾向～

・知識として病院受診を認識しているが「保健所で検査を受ける」の回答割合は低く、保健所性感染症検査の認知度は低い
・検査未受検者では検査費用や他者に結果を知られることに不安があり、検査の具体的案内により解消できる可能性がある

普及啓発動画内容

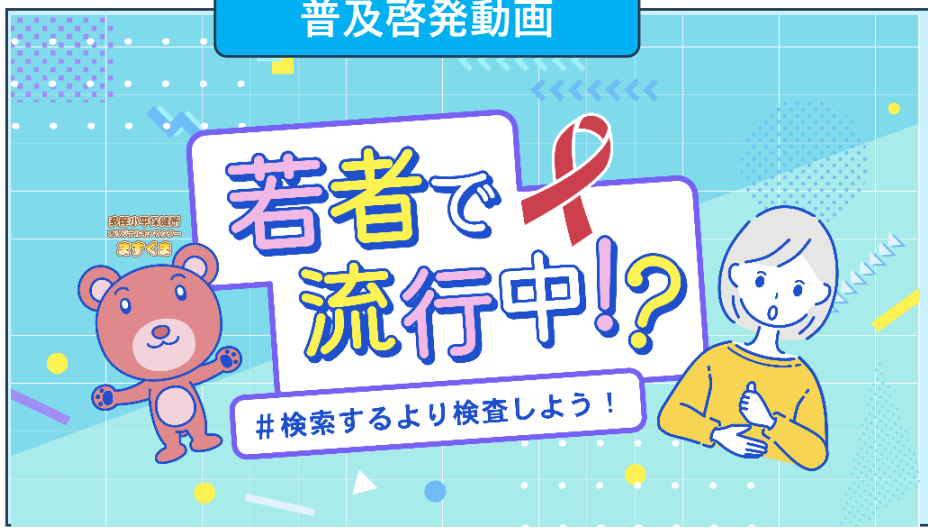
・性行為の機会があれば誰でも感染する可能性があることを強調
・性感染症の罹患可能性・重大性を伝え、自分事として捉えられる内容
・保健所における無料・匿名の性感染症検査の認知度向上が必要
・検査不安を軽減できるよう受検のハードルを下げ安心感を持たせる工夫

周知方法

・媒体：保健所HP、東京動画・都保健所YouTube、東京都SNS(X)、大学HP等
・イベントの活用：大学学園祭やエイズ予防月間普及啓発キャンペーン

【R7年度(2)動画公開・性感染症予防普及啓発キャンペーン】

普及啓発動画



・3分Ver：知識と検査勧奨
・30秒Ver：検査勧奨

【主なメッセージ】
・性感染症の罹患可能性、特徴
・パートナーとの検査の勧め
・コンドームの使用
・保健所検査の具体的な受け方、検査の流れ

大学学園祭ブース参加 → **動画制作報告会** → **エイズ予防月間キャンペーン**



動画視聴
＋
アンケート調査
啓発グッズ配布



動画二次元コード付ステッカー・チラシ配布

【R７年度（３）本事業成果の評価】

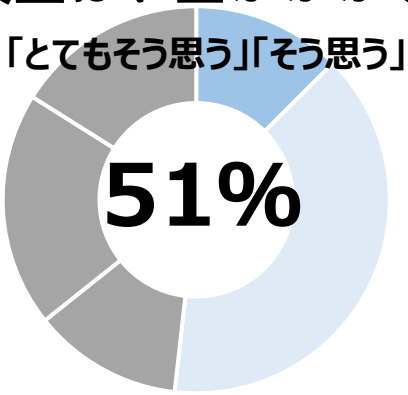
動画視聴後アンケート調査

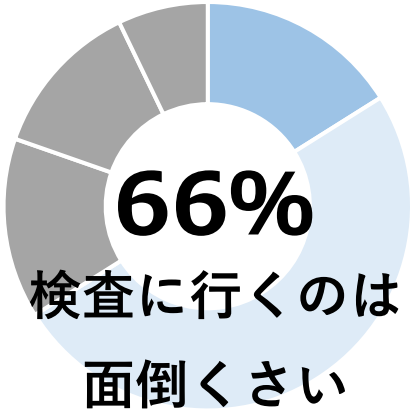
目的	○動画視聴後の意識の変化、行動変容について明確にする ○効果的な動画掲載媒体を知り、今後の管内での普及啓発活動に活用する		
方法	Microsoft FormsによるWEBアンケート（QRコード付きチラシを配布）		
期間	令和7年10月18・19日、11月19・21日、12月1・8日　計６日間		
対象	学園祭来場者・管内の大学生		
回答状況	回答数	70名	
	【回答者属性】	①性別	女性　54名（77%） 男性　14名（20%） 無回答 2名（3%）
		②年齢	Z世代（15～29歳まで）56名（80%） 30～50歳代 14名（20%）

Z世代回答者の主な調査結果

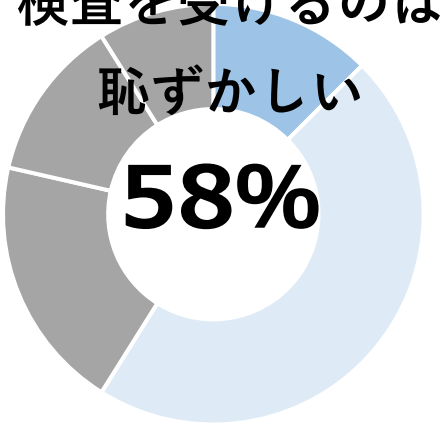
動画視聴前の性感染症検査についての印象①　（n＝56）

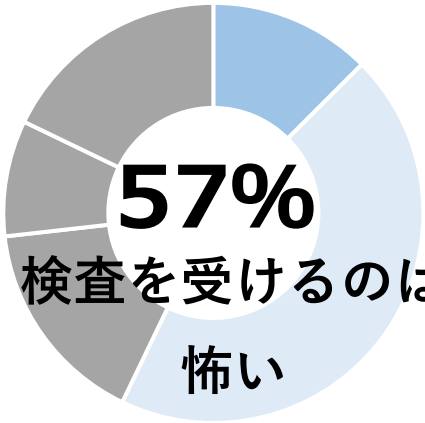
検査はお金がかかる
「とてもそう思う」「そう思う」





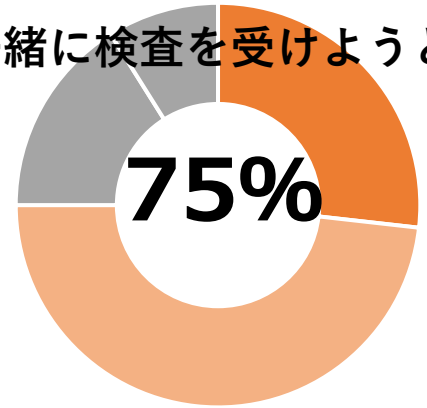
検査を受けるのは
恥ずかしい



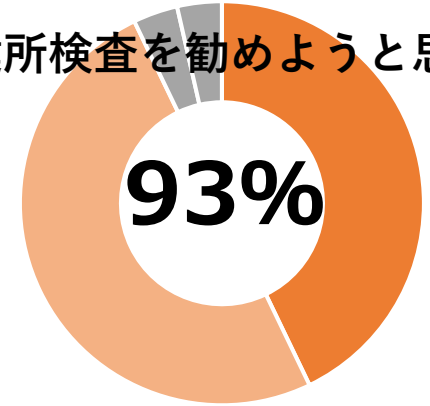


動画視聴後の性感染症検査についての考え　（n＝56）

パートナーと(パートナーができた時)
一緒に検査を受けようと思う



友達・知人が検査を受けるか悩んでいる時
保健所検査を勧めようと思う



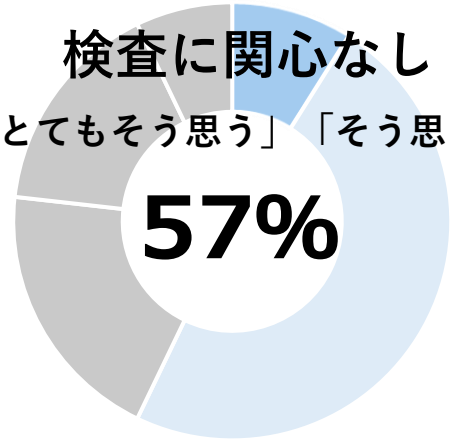
動画視聴前の性感染症検査についての印象②

（20歳代以下・n＝56 ）

無関心層

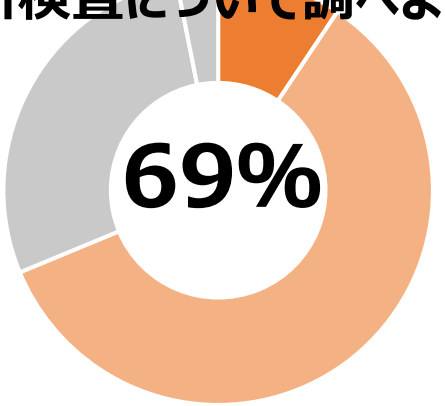
検査に関心なし

「とてもそう思う」「そう思う」



（動画視聴前に検査に無関心だった対象者・n＝32）

保健所検査について調べようと思う

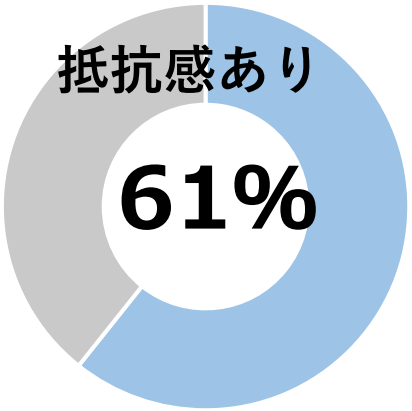


動画視聴前後の性感染症検査への抵抗感

（20歳代以下・n＝56 ）

動画視聴前

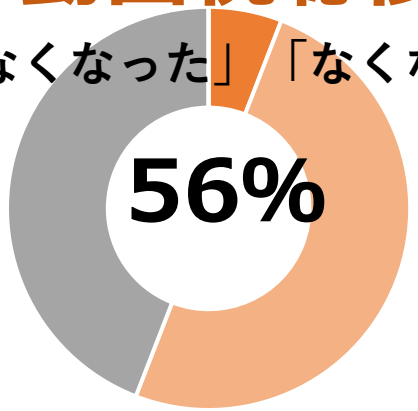
抵抗感あり



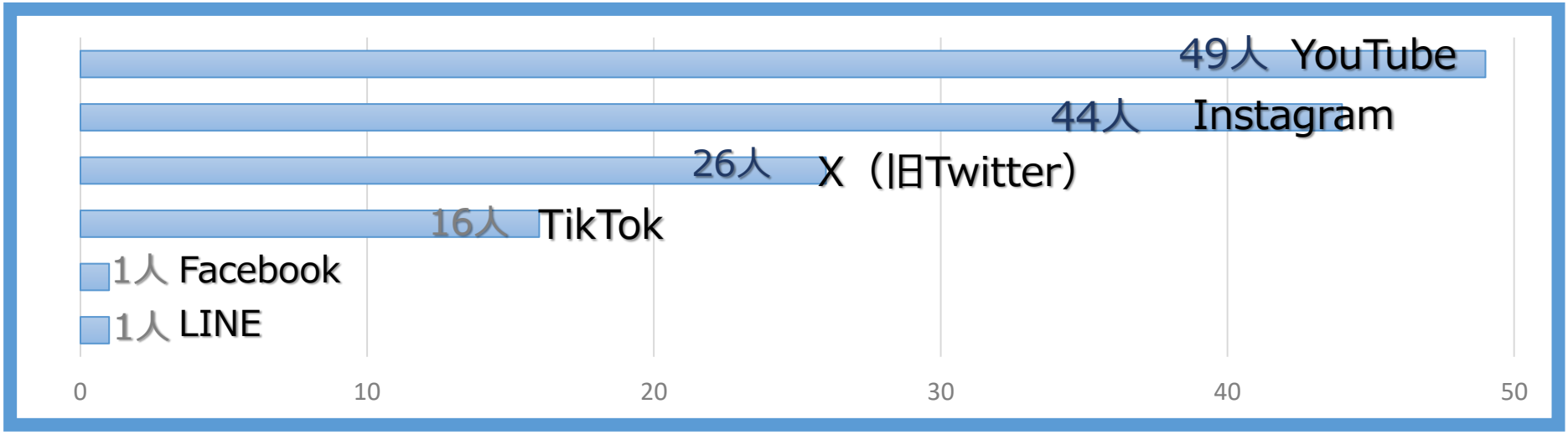
（動画視聴前に抵抗感があった対象者・n＝34）

動画視聴後

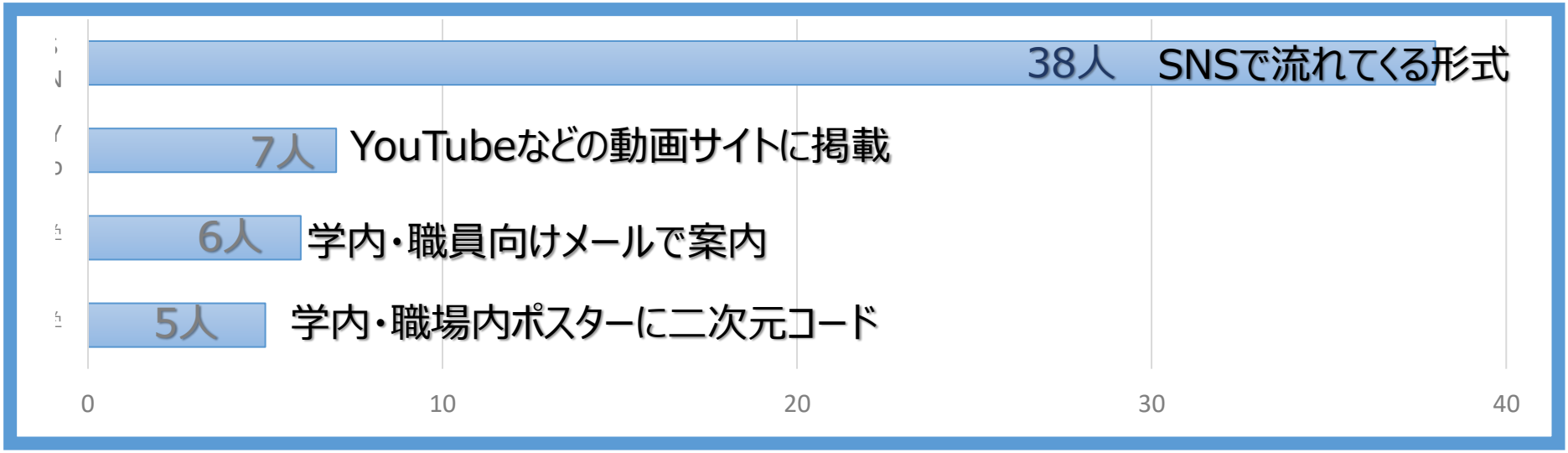
「全くなくなった」「なくなった」



普段目にすることが多いSNSやアプリ（複数回答可）（n＝56）



視聴しやすい動画提供方法（複数回答可）（n＝56）

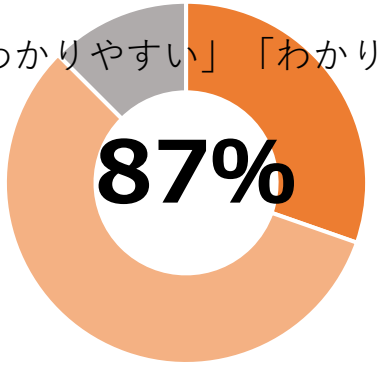


動画内容、動画時間について

（n＝56）

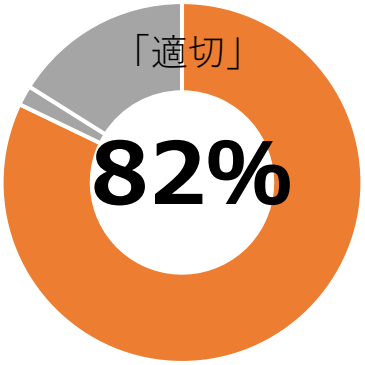
動画内容

「大変わかりやすい」「わかりやすい」



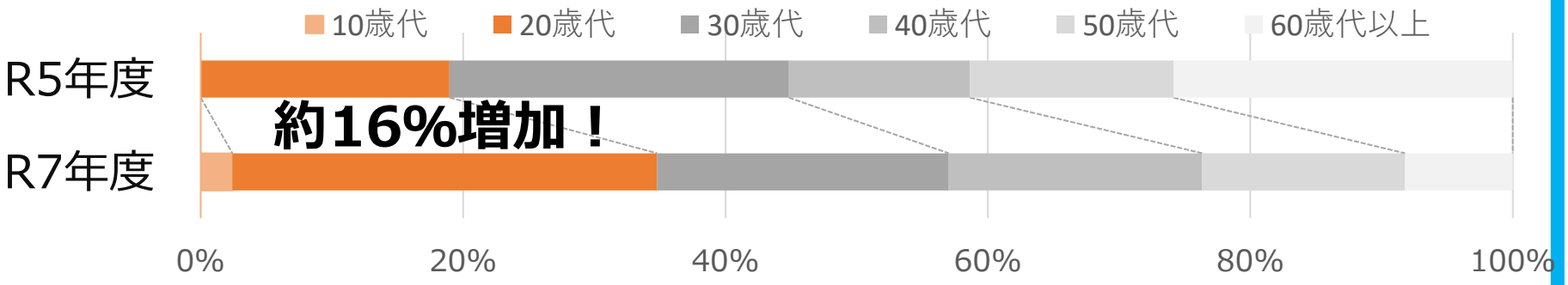
動画時間

「適切」



多摩小平保健所 性感染症検査受検者年齢層の比較

性感染症検査受検者数の比較（6～12月まで）



※R7年度Web検査申込開始による影響の可能性あり

まとめと今後の取組

アンケート結果



Z世代に受け入れられ、検査へのネガティブなイメージを払拭できた

無関心層にも検査を受けてみようという動機につながる効果があった

検査への抵抗感への対応は不十分。今後も検討が必要。

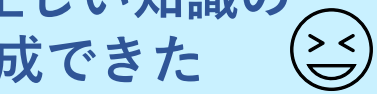


目が留まるのはSNSで「流れてくる形式」➡ 動画広告等は予算的に厳しい

YouTube・東京動画での公開、公共機関等でのQRコード貼付では無関心層へのアプローチは困難

性感染症検査受検者年齢層の比較：Z世代の割合が約16％増加

事業目標「Z世代が性感染症を身近な課題ととらえ、正しい知識の習得や予防行動・受検行動につながる」を一定程度達成できた





保健所における今後の普及啓発

大学や高校、職域等との連携した普及啓発活動を継続し、Z世代に動画を見てもらう機会をつくっていく